

平成23年度 藤枝市の家計簿

～元気なまち藤枝づくりが着実に進んでいます～

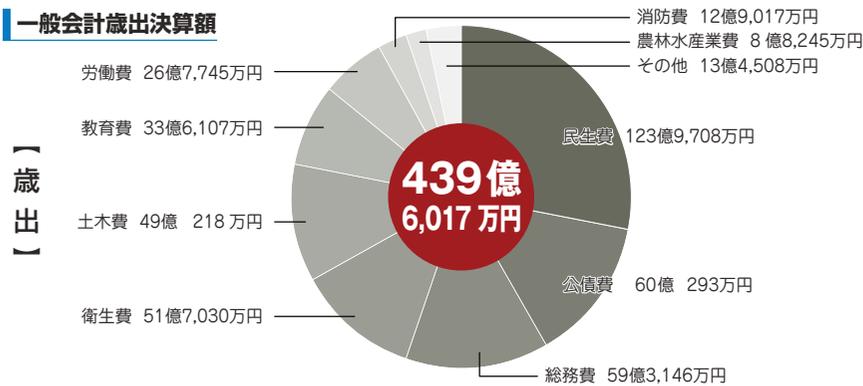
☎財政課 ☎643・3111 内線352

平成23年度に市民の皆さんに納めていただいた税金は、元気なまち藤枝づくりのために、さまざまな形で活用しました。税金の使い道などを市民の皆さんに知っていただくため、毎年2回「広報ふじえだ」で市の財政状況を公表しています。今回は、9月議会で承認された平成23年度決算をお知らせします。

歳出は、平成22年度より約12.7億円増

歳出（市の支出）は、平成22年度と比べて全体で約12.7億円増加しました。主な要因としては、将来に備え、財政調整基金を約17.6億円積み立てたことが挙げられます。また、制度改革により子ども手当が約1.6億円、小中学校の児童・生徒のパソコン整備が完了したため約4.9億円の支出が減少しました。

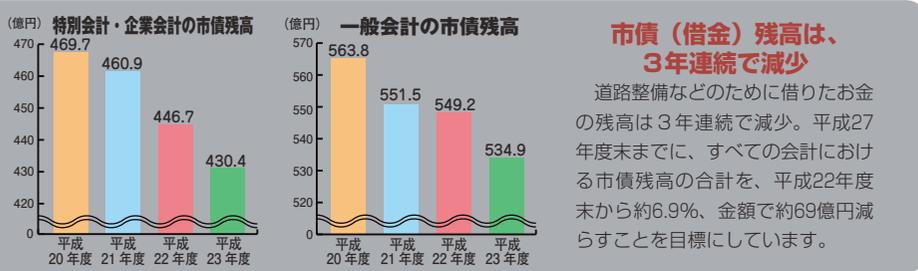
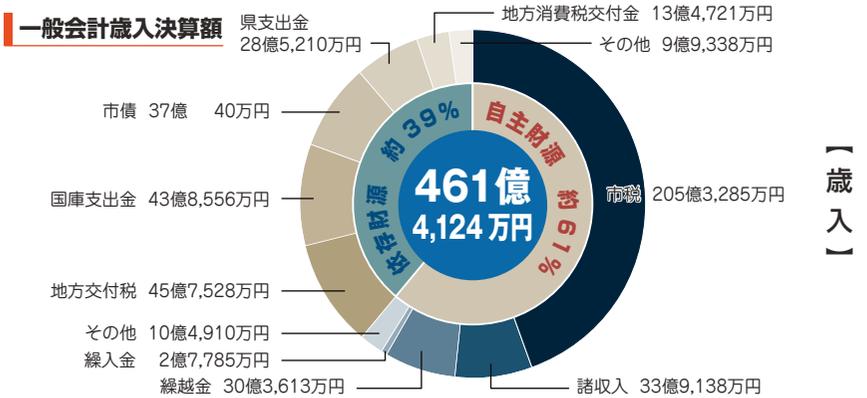
一般会計歳出決算額



歳入は、平成22年度より約4.2億円増

歳入（市の収入）は、平成22年度と比べて全体で約4.2億円増加しました。主な要因としては、市税が約1.3億円（内、たばこ税約1.1億円）増加したためと、国から交付される地方交付税が約1億円増加したためです。

一般会計歳入決算額



市債（借金）残高は、3年連続で減少

道路整備などのために借りたお金の残高は3年連続で減少。平成27年度末までに、すべての会計における市債残高の合計を、平成22年度末から約6.9%、金額で約69億円減らすことを目標としています。



効果的な事業展開に向け、基金（貯金）を積み立て

市の事業を効果的・効率的に進めていくために、いくつかの基金を積み立てています。例えば、市民会館などの文化施設を整備するために、「総合文化施設整備基金」を積み立てています。

- 【歳入】
 - 〔市税〕 市税や固定資産税など
 - 〔諸収入〕 貸付金の元利収入など
 - 〔繰越金〕 前年度から本年度へ持ち越されたお金
 - 〔繰入金〕 一般会計と特別会計、または各種基金から、財源の不足を補うために補充されるお金
 - 〔その他（自主財源）〕 公共施設の使用料、各種手数料、財産収入、寄附金など
 - 〔依存財源〕 地方交付税や国・県支出金など国や県から市に入ってくるお金
 - 〔地方交付税〕 地方の財政格差をなくすため、国から交付されるお金
 - 〔国庫支出金・県支出金〕 市の特定の事業の財源として、国や県から支出されるお金
 - 〔市債〕 道路や公共施設を整備するために、国や銀行から借りたお金
 - 〔地方消費税交付金〕 消費
- 【歳出】
 - 〔民生費〕 高齢者福祉や障害福祉、児童福祉などの経費
 - 〔公債費〕 市の借金などの返済経費
 - 〔総務費〕 総務管理や企画・税務事務などの経費
 - 〔衛生費〕 ごみ、し尿処理、予防接種、健康診断などの経費
 - 〔土木費〕 道路や公園の施設整備・維持管理などの経費
 - 〔教育費〕 学校や公民館などの施設整備・維持管理などの経費
 - 〔労働費〕 労働対策などの経費
 - 〔消防費〕 消火・救急活動などの経費
 - 〔農林水産業費〕 農林業の振興などの経費
 - 〔その他〕 議会費、商工費、諸支出金、災害復旧費など

〈財政用語解説〉

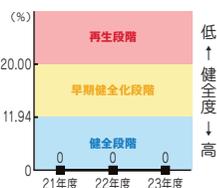
- 【歳入】
 - 〔自主財源〕 市税や市の施設の使用料など、市が独自で調達できるお金
 - 〔市税〕 市税や固定資産税など
 - 〔諸収入〕 貸付金の元利収入など
 - 〔繰越金〕 前年度から本年度へ持ち越されたお金
 - 〔繰入金〕 一般会計と特別会計、または各種基金から、財源の不足を補うために補充されるお金
 - 〔その他（自主財源）〕 公共施設の使用料、各種手数料、財産収入、寄附金など
 - 〔依存財源〕 地方交付税や国・県支出金など国や県から市に入ってくるお金
 - 〔地方交付税〕 地方の財政格差をなくすため、国から交付されるお金
 - 〔国庫支出金・県支出金〕 市の特定の事業の財源として、国や県から支出されるお金
 - 〔市債〕 道路や公共施設を整備するために、国や銀行から借りたお金
 - 〔地方消費税交付金〕 消費

藤枝市の財政状況

藤枝市の財政状況を、地方公共団体の財政状況が健全かどうか判断する5つの指標でみると、いずれの項目も早期に改善しなければならない基準を下回っている、健全な状態です。なお、最近3年間の状況は以下の通りです。

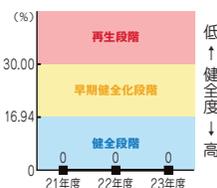
①実質赤字比率→3年間赤字なし

普通会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化度合いを示すものです。藤枝市については、すべての会計で黒字であるため、赤字はありません。



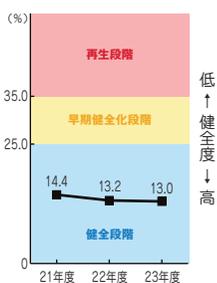
②連結実質赤字比率→3年間赤字なし

市のすべての会計の赤字や黒字を合算し、市全体の財政運営の悪化度合いを示すものです。藤枝市は、すべての会計で黒字になるため、赤字はありません。



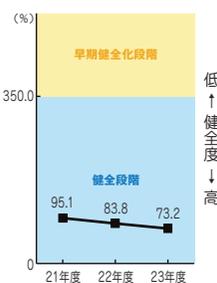
③実質公債費比率→前年度より0.2%改善

借入金の返済にかかる負担の重さを示す指標で、すべての会計および一部事務組合（志太広域事務組合など）が対象となります。青木中央公園などの整備が減少したことにより、特定財源を借入金の返済に充当したため、22年度に比べ0.2%改善しました。



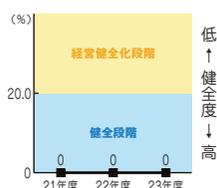
④将来負担比率→前年度より10.6%改善

市のすべての会計の借入金や、将来払っていく可能性のある負担など、現時点での負債の残高を指標化し、財政の圧迫度を表すものです。財政調整基金の新規積立（17.6億円）や借入金の残高が減少したため、22年度に比べ10.6%改善しました。



⑤資金不足比率→3年間資金不足なし

公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率で、経営状況の悪化度合いを示すものです。藤枝市は、すべての会計で資金不足はありません。



市の財政は**健全そのもの**です。
市の財源は市民の皆さんからお預かりした大切な税金です。今後も健全な財政運営に努めていきます。

特別会計決算額

特別会計	収入総額	差引額
	支出総額	
国民健康保険事業	134億8,957万円	1億5,345万円
	133億3,612万円	
簡易水道事業	3,825万円	0円
	3,825万円	
土地取得	299万円	0円
	299万円	
公共下水道事業	30億4,448万円	31万円
	30億4,417万円	
駐車場事業	7,990万円	5万円
	7,985万円	
農業集落排水事業	7,799万円	0円
	7,799万円	
介護保険	85億2,215万円	4,055万円
	84億8,160万円	
後期高齢者医療	12億 60万円	4,732万円
	11億5,328万円	

特別会計は、特定の事業を行うための会計で、一般会計とは別に収支を行います。本市には、国民健康保険事業や簡易水道事業など8つの特別会計があります。



公営企業会計決算額

病院事業会計

区分	決算額	備考
病院事業収益	132億1,566万円	経常収支
病院事業費用	136億8,855万円	
資本的収入	9億5,100万円	企業債など
資本的支出	14億1,025万円	建設改良費など

公営企業会計は、独立採算が原則で自らの収入だけで経理を賄う会計です。本市には、病院事業会計と水道事業会計の2つの公営企業会計があります。



▲地域に根ざした病院を目指して「病院ふれあいフェスタ」開催

水道事業会計

区分	決算額	備考
水道事業収益	22億7,472万円	経常収支
水道事業費用	20億9,705万円	
資本的収入	3億1,122万円	企業債など
資本的支出	11億2,444万円	建設改良費など